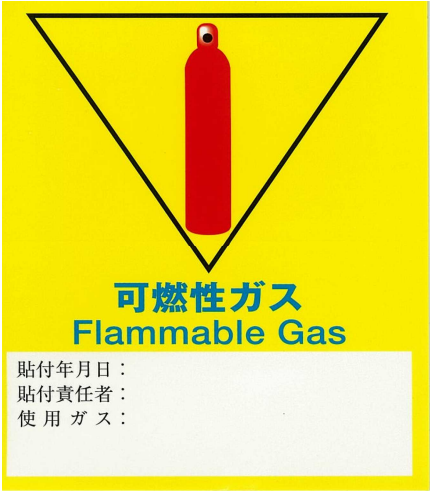
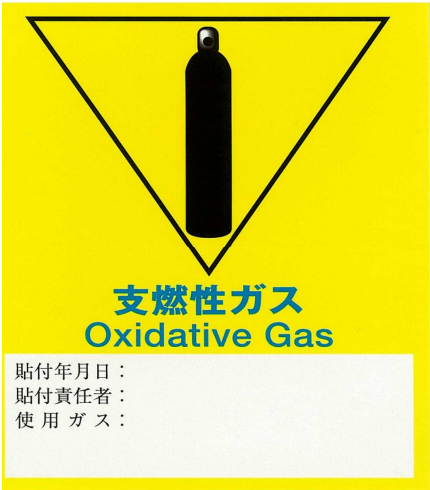
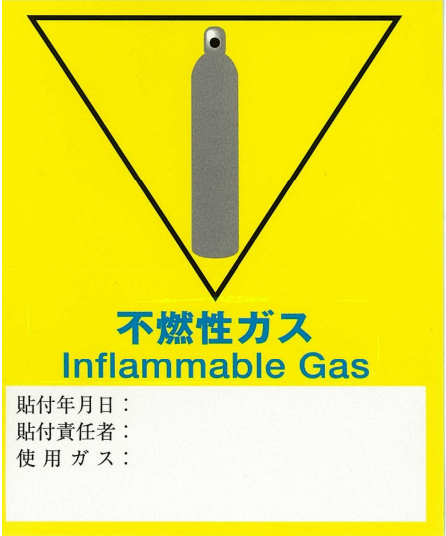


ピクトサイン	掲示に関する注意事項
 貼付年月日： 貼付責任者： 機器名名： 保管状況：	1. 強磁場あり 核磁気共鳴装置 (NMR) などのある部屋に掲示。<u>強磁場による心臓ペースメーカーなどへの影響があることを注意喚起する</u>
 貼付年月日： 貼付責任者： 機器名名： 保管状況：	2. レーザー機器 強力なレーザー光を発生する機器 (クラス 2 以上、出力 0.39 μW をこえるもの) を設置した部屋に掲示する。
 貼付年月日： 貼付責任者： 機器名名： 保管状況：	3. X 線装置 X 線を発生する機器 (電子顕微鏡等二次的な X 線発生装置を除く) を設置している部屋に掲示。 一部に《管理区域》の表示が見当たりますが、これは実行線量が 1.3mシーベルト／3 月を超えるおそれのある作業場に掲示するものです。これに当たる実験室は直ちに工学系安全管理室までお申し出下さい。 (電離放射線障害防止規則第 3 条)

 貼付年月日： 貼付責任者： 機 器 名： 保 管 状 況：	4. 高電圧注意 交流では700Vまでを低圧、700Vを越え7000Vまでを高電圧と呼んでいます。感電の危険性は人体の接地条件により大きく異なります。低圧装置でも外部に注意を促す必要があるときには表示をして下さい。
 貼付年月日： 貼付責任者： 使 用 ガ ス：	5. 可燃性ガス 緊急時の消火活動に対する掲示。 水素、一酸化炭素、アセチレン、アンモニア、シラン、プロパン、ホスフィン、メタンなどが相当します。 (一般高圧ガス保安規則第2条一項)
 貼付年月日： 貼付責任者： 使 用 ガ ス：	6. 支燃性ガス 緊急時の消火活動に対する掲示。 酸素、一酸化窒素、塩素、圧縮空気などが相当します

 不燃性ガス Inflammable Gas 貼付年月日： 貼付責任者： 使用ガス：	7. 不燃性ガス 緊急時の消火活動に対する掲示。 窒素、アルゴン、ヘリウム、二酸化炭素など 不活性ガスが相当します。 (一般高圧ガス保安規則第2条四項)
 特殊高圧ガス Semiconductor Material Gas 貼付年月日： 貼付責任者： 使用ガス：	8. 特殊高圧ガス アルシン、ジシラン、ジボラン、セレン化水素、 ホスフィン、モノゲルマン、モノシランを使用 している実験室の扉に表示して下さい
 禁 水 貼付年月日： 貼付責任者： 禁水物質名： 保管状況：	9. 禁水 緊急時の消火活動に対する掲示。 目安として多量 (100 g 以上) の禁水性試薬 (金属ナトリウム、トリエチルアルミニウム、 ジアルキル亜鉛など) を使用している部屋に 掲示。ただし、金属製の容器に禁水性試薬が 保管されている場合などは掲示する必要はあ りません。大きな火災が部屋の中で起きてい る緊急時に、<u>消防隊が放水した方が早く消火 できると判断できる場合は掲示しないで下さ い。この掲示がある場合は、放水による消防 隊の消火活動はできなくなると考え下さい</u>



10. 第一種有機溶剤

第一種有機溶剤 (別紙1を参照) を使用する部屋に掲示。

(有機溶剤中毒予防規則 24 条)

注意事項には人体に有毒性あり等をお書き下さい。



11. 第二種有機溶剤

第二種有機溶剤 (別紙1を参照) を使用する部屋に掲示。

(有機溶剤中毒予防規則 24 条)

注意事項には人体に有毒性あり等をお書き下さい。

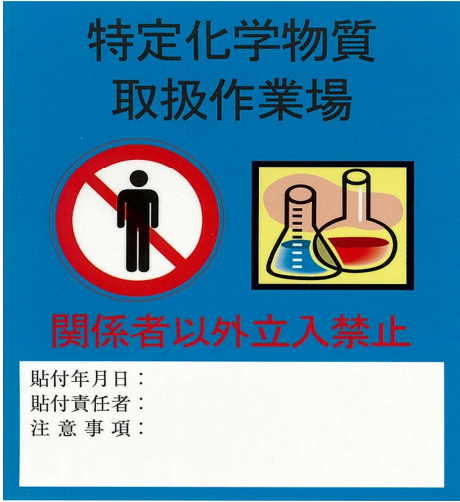


12. 第三種有機溶剤

第三種有機溶剤 (別紙1を参照) を使用する部屋に掲示。

(有機溶剤中毒予防規則 24 条)

注意事項には人体に有毒性あり等をお書き下さい。

	13. 特定化学物質取扱作業場 特定化学物質等(別紙2第1類、2類が該当)を使用する部屋に掲示。 (特定化学物質等障害予防規則 24 条一項により関係者以外立ち入り禁止)。 注意事項には人体に有毒性あり等をお書き下さい。
	14. 許容量未満実験室 「有機溶剤中毒予防規則一部除外認定作業場」および臨時作業所については従来のピクトサイン上に許容量未満実験室の表示して下さい。
	15. 特別管理物質 特別管理物質(22種)は物質別個人作業記録が義務付けられています。試薬が特別管理物質であるか否かを容易に判るように試薬瓶に貼るラベルを用意しました。

	番外. 高圧ガスボンベ用開閉札 高圧ガスボンベ用の回転式両面表示板の開閉札も用意してあります。必要な研究室はご連絡下さい。 なお、数に限りがございますのでなくなり次第終了とさせていただきます。 19.4.1
---	---